

A Study on Translating the Chinese “V1 zhe” into Japanese

MURAMATSU Yukiko

Abstract

This paper examines delves into the translation of the Chinese “V1 zhe” in the “V1 zhe V2” structure into Japanese. The Chinese “zhe” is known to have six usages (Lu 1980). First, this study categorizes the usage of “V1 zhe” into five cases based on corresponding Japanese forms and identifies three fundamental cases among them, “simultaneous progress,” “maintenance of state,” and “means/method.” As a result, this study proposes five hypotheses related to the translation of “V1 zhe” into Japanese, leading to the following conclusions: 1) “V1 zhe” in the context of “simultaneous progress” predominantly corresponds to “-nagara,” but when nuances of means, methods, or postures are included, “-te” can also be used. 2) In cases of “maintenance of state,” it corresponds to “-te,” although depending on the conditions, “-tamama” can also be used. 3) For “means/method,” “V1 zhe” is basically translated using “-te.”

“V1 着 V2”形式における“V1 着”の日本語訳について

村 松 由起子

1. はじめに

中国語の「動詞＋着」形式には、主動詞に“着”が付くケースと“V1 着 (,) V2”形式になる複文やいわゆる連動式における V1 に“着”が付くケースがある。以下、前者を“V 着”、後者を“V1 着”とし、本稿では後者の“V1 着”をどのような日本語形式に訳せばよいかについて検討する。

2. 本稿で扱う“V1 着”

まず、本稿で扱う“V1 着”がどのような日本語形式に対応しているのかを概観しておく。

次の(1)～(10)は“V1 着”の用例である。なお、本稿の用例に付してある下線は、先行研究の用例を含め、本筆者による。また、日本語訳については中国語の下に記す形に統一した。

- (1) 我喜欢喝着咖啡听音乐。

私はコーヒーを飲みながら音楽を聞くのが好きです。(杉村 1994 : 104)

- (2) 老师握着我的手说：“再见！”。

先生は私の手を握りながら「さようなら！」と言いました。(刘他 1991 : 595)

- (3) 躺着看书对眼睛不好。

寝ころんで本を読むのは目に良くない。(杉村 1994 : 104)

- (4) 抿着嘴笑。

口をすぼめて笑う。(呂 1992 : 487)

- (5) 西门豹歪着腰，装作很恭敬的样子。

西門豹はこしをかがめて恭しい様子を装った。(刘他 1988 : 315)

- (6) 只有一个桔子了，你和妹妹分着吃吧。

ミカンは一箇だけになった、妹と分けて食べなさい。(杉村 1994 : 104)

- (7) 坐着讲。

座ったままで話す。(呂 1992 : 487)

(8) 开着电视就出门了。

テレビをつけたまま、出かけてしまいました。(標準日本語 2005 : 199)

(9) 睡着睡着，他做了一个梦。

眠っているうちに、彼は夢を見た。(杉村 1994 : 269)

(10) 他说着说着哭了起来。

彼は話しているうちに泣き出した。(刘他 1988 : 319)

上記 (1)～(10) の用例の日本語訳を見ても、「V1 着」の日本語訳としては、少なくとも「ながら」「て」「たまま」「うちに」の形式が対応していることがわかる。このように“V1 着”は複数の日本語形式と対応していることから、日本語に訳すという視点からはどのような場合にどのような日本語形式に訳せばいいのかが問題となる。

本稿では、まず先行研究を用いて“V1 着”の意味・用法を整理した上で、“V1 着”をどのような日本語に訳すのが適切かを考察していく。

3. “V1 着”の意味・用法

まず、先行研究を用いて“V1 着”の意味・用法を確認しておく。

呂 (1980) や刘他 (1983) などでは、“V1 着”は“V1 着”“V 着”を合わせて“着”として扱われている。また、“V1 着”の意味・用法を考察した研究としては王 (2004)、張 (2006) などがあるが、ここでは先行研究で最もよく引用されている呂 (1980) を用いて、“着”の意味・用法を整理しておく。なお、呂 (1980) には日本語訳版として呂 (1992) が、刘他 (1983) には刘他 (1988) (1991) があるため、本稿での日本語訳には呂 (1992)、刘他 (1988) (1991) の訳を用いていく。

表 1 は呂 (1980 : 594-595) が記述している“着”の 6 つの意味・用法を本稿にて表の形で整理したものである。

表 1 呂 (1980) (1992) の“着”の意味・用法

意味・用法	下位分類
① 動作が今進行していることを表す。	
② 状態の持続を表す。	
③ 存在文に用いる。どのような状態・姿で存在しているかを表す。	a 名 (場所) + 動 + 着 + 名 (動作の主体) b 名 (場所) + 動 + 着 + 名 (動作の対象)
④ 動 1 + 着 + 動 2 連動式を構成する。	a 2つの動作が同時に進行することを表す。 b 動 1 と動 2 は一種の手段と目的の関係にある。 c 動 1 の進行中に動 2 の動作が現れる。
⑤ 形 + 着 + 数量	
⑥ 動 / 形 + 着 + 点儿 命令・注意などに用いる。	

表1の①～⑥のうち、③には a、b、④には a、b、c の下位分類が設けられている。この6つの意味・方法のうち、本稿で扱う“V1 着”は主として④連動式に該当する。①では主に主動詞に“着”が付く“V 着”形式が扱われているが、①にも複文の構造を持つ“V1 着”の用例が含まれており、この種の複文の場合は“V1 着 V2”の用例として扱っていく。

以下、本稿で扱う①の中に含まれる複文の用例と、④連動式の用例に限定して見ていく。

次の(11)(12)は呂(1980)の①に含まれる“V1 着”の用例である。

(11)人们跳着, 唱着。

人々は踊ったり歌ったりしている。

(12)妈妈读着信, 脸上露出高兴的神色。

母は手紙を読んでいるうちに、顔に喜びの表情があふれた。

(11)は2つの動作が同時並行的に行われており、日本語では「～たり～たり(以下「たり」)」が対応する。このケースは動作の同時進行という点では、④aの「2つの動作が同時に進行していることを表す」と同じであるため、動作の同時進行の一種として扱えるであろう。

(12)はV1の動作が進行中にV2が生じたことを述べており、日本語では「うちに」が対応する。このケースは④cの「動1の進行中に動2の動作が現れる」と同様であるため、④cと一緒に扱えるであろう。

したがって、本稿では、①の中の複文のケースは④と一緒にして扱っていくことにする。

次に④の連動式について見ていく。

④には a、b、c の下位分類があるので、以下、順に呂(1980)の用例を確認する。

(13)～(15)は「a. 2つの動作が同時に進行することを表す」ケースの用例である。呂(1980)の④aには、動作が同時に進行している最中の場合と動作や変化が生じた結果の状態が維持されている場合の両方が含まれている。本稿では、この2種類を分けて考察していくため、呂の提示順を一部入れ替えて整理する。

まず、動作が同時に進行している最中の用例から見ていく。

(13)说着看了我一眼。

言いながら私をちらりと見た。

(14)争着抢着报名。

競い合って名乗りをあげる。

(15)笑着闹着跳进了游泳池。

笑ったり大声をあげたりしながらプールに飛び込んだ。

(15)は「～たり～たりしながら」になっているが、「[笑ったり大声をあげたり]しながら」という構造のため、ここでは「ながら」として扱っておく。

これらの用例を見ると、④で同時に進行している最中の意味・用法の場合は少なくとも日本語では「ながら」「て」の形式と対応することがわかる。

次に状態が維持されている場合の用例を見ていく。

(16) 坐着讲。
座ったままで話す。

(17) 抿着嘴笑。
口をすぼめて笑う。

(18) 红着脸说。
顔を赤らめて話す。

(19) 低着头不作声。
うなだれて声も立てない。

(20) 拿着掂了掂分量。
手にとって重さをはかった。

この種の状態の維持は「座ったまま」「口をすぼめて」など主体の様態を表している。これらの用例をみると、④で状態が維持されている意味・用法になる場合は少なくとも「たまま」「て」の形式と対応することがわかる。

このように、④の同時進行と状態の維持では対応の基本となる日本語の形式に違いがあるため、日本語訳の観点からはこの2種類を分けて考察する必要がある。

なお、aでは上記の用例以外に以下の(21)(22)も挙げられているが、これらは日本語としての自然さを考えて訳す必要があるため、ここでは非典型的なケースとして扱うことにする。

(21) 硬着头皮回答。
思い切って答える。

(22) 冒着大雪上山。
大雪をものともせず山に登る。

次に「b. 動1と動2は一種の手段と目的の関係にある」ケースを見てみる。

(23)～(27)の用例を見るとわかるように、このbの場合、日本語訳としては基本的に「て」が対応する。

(23) 急着上班。
急いで出勤する。

(24) 忙着准备出发。
忙しく出発の用意をする。

(25) 藏着不肯拿出来。
隠して出そうとしない。

(26) 领着孩子朝外走。
子供を連れて外へ行く。

(27) 赶着羊群往东边去了。
羊の群れをかりたてて東へ行った。

次の(28)は一見「て」には対応していないように見えるが、直訳的には「残しておいてお父

さんに食べさせてあげる」となるため、やはり「て」で訳せると見なしでもいいであろう。

(28) 这碗菜留着给爸爸吃。

この料理はお父さんのために残しておく。

次に「c. 動1の進行中に動2の動作が現れる」ケースを見てみる。

このケースでは、日本語訳としては基本的に「うちに」が対応する。

(29) 想着想着笑了起来。

考えているうちに笑い出してしまった。

(30) 说着说着不觉到了门口了。

話しているうちに、いつの間にか入り口に来ていた。

(31) 走着走着天色已经暗了下来。

歩いていくうちにもう空が暗くなってきた。

さらに、上記(29)(30)は「考えながら」「話しながら」のように「ながら」で訳すこともできる。ただし、同時進行の「ながら」は同一主語でなければならないため、(31)のように前件と後件で主語が異なる場合は「ながら」では訳すことができない。なお、(29)(30)のように置き換えが可能な「うちに」と「ながら」があることは村松(2019)で指摘している。

以上、呂(1980)の分類から“V1着”に関する部分を抜き出し、呂の用例を用いて、“V1着”の意味・用法とそれに対応する日本語訳として「ながら」「て」「たまま」「うちに」「たり」があることを確認してきたが、連動式には呂(1980)の“着”の用例には見られなかった形式に対応する場合も見つかる。

(32)は現代漢語教研室(2004)、(33)は刘他(1988)の用例である。

(32) 我给您拿着包袱，您拿着怪累的。

私が包みを持ってあげましょう、あなたが持っているとひどく疲れますからね。(現代漢語教研室 2004: 318)

(33) (狼) 说着，就向东郭先生扑去。

(狼) そう言うと、東郭先生に飛びかかって行った。(刘他 1988: 319)

(32)は原因結果の関係、(33)は継起の意味・用法であり、日本語訳は「と」が対応している。本稿では呂(1980)の用例を用いて整理してきたため、これらのケースを補う必要がある。ここではこれらを「その他」として扱っておく。

以上より、“V1着”について、この形式に対応する日本語訳の観点から整理すると、表2のようになる。①と④a「2つの動作が進行していることを表す」意味・用法になるケースを一つにまとめた上で、「<1>2つの動作が同時に進行することを表す(以下「同時進行」)」場合と「<2>状態の維持を表す(以下「維持」)」場合に分け、④bを「<3>手段・方法を表す」、④cを「<4>V1の進行中にV2の動作が現れることを表す」、「<5>その他」とする。

表2 “V1 着” が対応する日本語の訳 (仮)

意味・用法	下位分類	日本語訳 (仮)
<1>2つの動作が同時に進行することを表す (同時進行)	同時進行	ながら, て
	同時並行	たり
<2>状態の維持を表す (維持)		て, たまま
<3>手段・方法を表す		て
<4>V1の進行中にV2の動作が現れることを表す		うちに, ながら
<5>その他 (原因結果, 継起など)		と

4. “V1 着” に対応する日本語訳

4.1 用例と動詞の種類

以下、表2の分類を用いて“V1 着”に対応する日本語訳を考察していく。表2の日本語形式のうち、日本語訳に用いる基本的な日本語形式は「ながら」「て」「たまま」であることから、ここでは、日本語の「ながら」「て」「たまま」の使い分けの先行研究である三宅 (1995) の用例を参考にしながら¹ 中国語と日本語の対応を確認していきたい。さらにその他の用例として、BCC 及び中日対訳の各コーパス、先行研究の用例、作例なども用いていく。

表2の「同時進行」と「維持」については、“V1 着”がどちらの意味・用法になるのかは、動詞の種類が関わっている。基本的に、継続動詞の場合には「同時進行」、瞬間動詞の場合には「維持」の意味・用法になる。動詞の分類についての先行研究としては工藤 (1995) や日本語記述文法研究会 (2007) などがあり、動きが継続か瞬間かもしくは動作か変化かによって分類がなされているが、本稿では動詞を継続か瞬間かで分けることにする。以下、考察では継続動詞、瞬間動詞を用いていく。

4.2 “V1 着” が「<1>2つの動作が同時に進行することを表す (同時進行)」場合

この「同時進行」の場合、表2では「ながら」「たり」と対応しているが、「ながら」を「て」に置き換えられる場合もある。以下、「ながら」のみに訳せる場合と「ながら」でも「て」でも訳せる場合に分けて考察する。

動詞の種類としては、“V1 着”がこの「<1>2つの動作が同時に進行することを表す (同時進行)」のは継続動詞の場合である。

まず「ながら」のみに訳せる場合について見ていく。

基本的に継続動詞の動作は、手段・方法・様態の意味になる場合を除き、“V1 着”を「ながら」で訳す。

¹ 三宅 (1995) の用例のうち、本稿では“V1 着”と対応する場合の用例を扱っていく。

(34)我喜欢喝着咖啡听音乐。

私はコーヒーを飲みながら音楽を聞くのが好きです。(杉村 1994 : 104) 再掲

(35)仲伟喘着问我：“这上面还种庄稼？”

仲偉が喘ぎながら「ここに作物を植えるのかな」と私に訊いた。(中日対訳、插隊的故事)

(36)说着看了我一眼。

言いながら私をちらっと見た。(呂 1992 : 487)

(37)他看着电视吃饭。

テレビを見ながらご飯を食べる。(彭 2007 : 337)

(38)一路走着哭。(BCC, 微博)

道中歩きながら泣いた。(作例)

上記の用例の場合、「ながら」を「て」に置き換えて訳すことはできない。

一方、継続動詞の動作であっても、手段・方法・様態のニュアンスが含まれる場合は「て」でも訳すことが可能になる。次に「ながら」だけでなく「て」でも訳すことができる場合を見ていく。

以下の用例は「ながら」だけでなく「て」で訳すことも可能ではある。「て」の場合、単なる同時進行ではなく、手段・方法・様態といったニュアンスが含まれる。

(39)弹着吉他，唱着歌。(作例)

ギターを {弾きながら／弾いて}、歌った。(三宅 1995 : 443 / 作例)

(40)苦苦挣扎着死去了。(作例)

{もがき苦しみながら／もがき苦しんで}、死んだ。(三宅 1995 : 443 / 作例)

(41)笑着站起来了。(作例)

{笑いながら／笑って²⁾}、立ち上がった。(三宅 1995 : 443 / 作例)

(42)他微笑着说祝福。(BCC, 微博)

彼は {微笑みながら／微笑んで} お幸せにと言った。(作例 / 作例)

(43)舅母思索了一会，笑着叹口气说：

おばは、しばらく考えて、{笑いながら／笑って} ため息をついた。(作例 / 中日対訳、关于女人)

(44)看着电视学跳舞。(作例)

テレビを {見ながら／見て} ダンスを習った。(作例)

(45)…加入香肠，熟的蔬菜和调味料拌着吃 (BCC, 微博)

ソーセージ、調理済みの野菜、それに調味料を加えて {かき混ぜながら／かき混ぜて} 食べる。(作例)

²⁾ 「笑う、泣く」などの場合は文脈によっては「たまま」に置き換えて「笑ったまま、泣いたまま」が使える場合もあるが、この場合の「たまま」の許容度には個人差があるため、適切に訳すという観点からここでは扱わないことにする。

(46) 看着手机发呆。(BCC, 微博)

携帯を 見ながら / 見て ぼうっとしている。(作例 / 作例)

手段・方法・様態を表す“V1 着”は、実際には同時に動作が進行していない場合にも使われるが、その場合は「ながら」で訳することができない。同時進行ではないケースについては4.4で扱っていく。

次の(47)～(49)は動作に繰り返しが想定できるケースであるが、この場合も「ながら」だけでなく「て」でも訳することができる場合がある。なお、(49)のように手段・方法の意味と繰り返しの意味の両方を持つ用例もある。

(47) 三泽用手帕大把大把地擦着汗说。

三沢はハンカチでやたらに首すじの汗を ふきながら / ふいて 言った。(中日対訳 / 作例, あした来る人)

(48) 小草和绍文, 拍着手哈哈大笑起来 (BCC, 青青河边草)

小草と紹文は、拍手を ししながら / して ハッハと大きな声で笑った。(作例)

(49) 借着钱, 勉强生活下去。(作例)

お金を 借りながら / 借りて、なんとか生活した。(三宅 1995: 444 / 作例)

4.2の最後に、動作が並行的にあるいは交互に行われる場合を見ておく。この場合、“V1 着”は「たり」で訳される。ただし日本語の「たり」は典型的には中国語の“又～又～”と対応するため、“V1 着”と「たり」が対応するケースは実際には多くはない。

(50) 人们跳着, 唱着。

人々は踊ったり歌ったりしている。(呂 1980) 再掲

文脈や場面から、動作が同時並行的に行われていたり交互に行われていたりすることがわかる場合には、「ながら」ではなく「たり」で訳す必要がある。

4.3 “V1 着”が「<2>状態の維持を表す(維持)」場合

この「維持」の場合、表2では「て」「たまま」と対応しているが、考察の結果、「て」のみで訳せる場合、「て」「たまま」さらには「て」「たまま」「ながら」のいずれでも訳せる場合、「たまま」のみで訳せる場合があることがわかった。動詞の種類としては、“V1 着”がこの「<2>状態の維持を表す(維持)」のは瞬間動詞の場合である。

まず、「て」のみで訳せる場合を見ていく。

「て」のみで訳せるというのはつまり「て」で訳せて「たまま」で訳せない場合ということになり、「て」と「たまま」の違いが問題になるが、この両形式の相違点については三宅(1995)が言及している。「たまま」には運用論的な条件があり、「たまま」が使えるのは「通常は起こらない、あるいはふさわしくないと見なされる状況を含意する(p.445)」場合であることから、この含意を有しない場合は使用できない。そのため、この種の含意を持たない次の(51)(52)の“V1 着”は「たまま」で訳すことができず「て」のみで訳せる。

(51) 穿着西服出去了。(作例)

スーツを 着て／*着たまま、外に出た。(三宅 1995 を参考にした作例)

(52) 穿着睡衣睡了。(作例)

パジャマを 着て／*着たまま、寝た。(三宅 1995 を参考にした作例)

さらに次の (53) も「たまま」が使えない例であるが、(53) で「たまま」が使えない理由については今後の課題とし、ここでは「て」しか使えない用例として挙げるに留めておく。

(53) 因为有一件衣服是两个人穿着照的。(BCC, 微博)

なぜなら、一着の服を二人が 着て／*着たまま 撮ったのです。(作例)

次に「て」「たまま」、さらには「て」「たまま」「ながら」のいずれでも訳せる場合について見ていく。

まず、上述の「たまま」の使用が可能になる含意を持つ場合は「て」「たまま」のいずれでも訳すことができる。

(54) 穿着西服睡了。(作例)

スーツを 着て／着たまま、寝た。(三宅 1995 を参考にした作例)

(55) 穿着睡衣出去了。(作例)

パジャマを 着て／着たまま、外に出た。(三宅 1995 を参考にした作例)

(56) 沉默着摇了一下头。(作例)

黙って／黙ったまま、小さく頭を振った。(三宅 1995 を参考にした作例)

(57) 戴着眼镜洗澡。(作例)

メガネを かけて／かけたまま、風呂に入った。(三宅 1995 を参考にした作例)

(58) 裹着毛毯下了床。(作例)

毛布に くるまって／くるまったまま、ベッドをはなれた。(三宅 1995 を参考にした作例)

(59) 拿着沉重的行李爬上了斜坡。(作例)

重い荷物を 持って／持ったまま、坂道を登った。(三宅 1995 を参考にした作例)

(60) 仲伟一直紧闭着嘴发愣，这会儿问：“吃什么呢你们？”

仲偉はずっと口をきつく 結んで／結んだまま ほんやりしていたが、ふと「何を食べているんだ」と訊いてきた。(中日対訳、插队的故事／作例)

(61) 开着窗户睡觉。

窓を 開けて／開けたまま 寝る。(朱 1995：220／作例)

さらに、次の (62)～(66) のように「て」「たまま」「ながら」でも訳せる場合があるが、この種の「ながら」については許容度に個人差があり、「ながら」としては周延的な意味・用法になる (三宅 1999：75)。適切な日本語に訳するという観点からは「て」「たまま」のほうが優先されるであろう。

(62) 叼着烟，在公园里散步。(作例)

煙草を くわえて／くわえたまま／くわえながら、公園を散歩した。(作例)

(63) 抓着母亲的手臂大声喊叫。(作例)

母親の腕に {しがみついて／しがみついたまま／しがみつきながら}、大声でわめいた。(三宅 1995)

(64) 嘴里含着口香糖，聊天。(作例)

ガムを口に {含んで／含んだまま／含みながら}、しゃべった。(三宅 1995)

(65) 红卫兵小将们推着段晓楼及京剧界的黑帮们走进后台。

紅衛兵達、段曉樓と京劇会の不良分子を {押さえつけて／押さえつけたまま／押さえつけながら} 楽屋に入って来る。(霸王別姫／作例／作例)

(66) 住院者正仰面躺着看书。

入院者は、そのベッドの上に {仰向けになって／仰向けになったまま／? 仰向けになりながら}、書物を読んでいた。(中日対訳, あした来る人／作例／作例)

4.3 の最後に「たまま」のみで訳せる場合についてみていく。

日本語の「て」の場合、基本的には動きの生起が含まれるのに対して、「たまま」は動作がすでに生起していてその結果が維持されている状態を述べている。そのため、文脈や場面から、すでに動作が生起していることが明らかな場合、あるいは動作の生起を含まない場面・文脈の場合、「V1 着」を「て」で訳すことができず、「たまま」で訳す必要がある。なお、以下の用例に付している「*」は“V1 着”に対応する日本語としては不適格であるという意味である。

(67) 一直穿着剧装，练习台词。(作例)

ずっと衣装を {?? 着て／着たまま}、セリフを練習した。(作例)

(68) 她是穿着走了一个半小时回家的嘛！(BCC, 微博)

彼女は一時間半 {* 着て／着たまま} 歩いて家に帰ったのです。(作例)

次の (69)～(72) では「て」で訳すと継起的な意味になるため、“V1 着”の日本語訳としては不適格になる。この場合“V1 着”の訳としては「たまま」で訳す。

(69) 还系着扣子就脱下了衣服。(作例)

ボタンを {* 留めて／留めたまま}、服を脱いだ。(作例／三宅 1995 : 446)

(70) 开着电视就出门了。(作例)

テレビを {* つけて／つけたまま} 出かけてしまった。(作例)

(71) 他穿着鞋在床上睡着了。(作例)

彼は靴を {* 履いて／履いたまま} ベッドで寝てしまった。(作例)

(72) 曾根把背囊搁在行李架上，站着从衣袋里掏出香烟，叼在嘴上。

曾根はリュックを網棚の上に載せると、{* 立って／立ったまま} 煙草をポケットから取り出してくわえた。(作例／中日対訳, あした来る人)

4.4 “V1 着”が「<3>手段・方法を表す」場合

この<3>の場合、表2では「て」と対応しており、以下のように日本語訳としては「て」で

訳す。動詞の種類としては、「走る」など継続動詞の場合もあれば、「座る」など瞬間動詞の場合もある。

(73) 听着广播, 学英语。(作例)

ラジオを聴いて、英語を勉強した。(三宅 1995 : 449)

(74) 挥着手, 示意。(作例)

手を振って、合図した。(三宅 1995 : 449)

(75) 骑着自行车, 买东西了。(作例)

自転車に乗って、買い物に行った。(三宅 1995 : 449)

(76) 跑着过了那座桥。(作例)

走って、その橋を渡った。(三宅 1995 : 449)

(77) 总把里面的球球拿出来扔着玩, … (BCC, 微博)

いつも、中のボールを取り出して投げて遊んでいる。(作例)

(78) 我还是自己包着吃吧! (BCC, 微博)

私はやはり自分で包んで食べよう。(作例)

(79) 我在河边摘着吃过, 跟国内的海棠果味道很像, 酸甜的, … (BCC, 微博)

私は川辺で摘んで食べたことがある。国内の海棠の実と味が似ていて、甘酸っぱかった。(作例)

(80) 其实我就是想坐着歇会儿… (BCC, 微博)

本当は少し座って休みたいだけだ。(作例)

このケースが「< 1 > 2つの動作が同時に進行することを表す」で扱った手段・方法・様態のニュアンスを持つ場合と異なるのは、この「< 3 > 手段・方法を表す」場合には実際に動作が進行している最中であるという意味を含んでいないため、「ながら」で訳すことができない点である。(73) の「聴いて」は「ながら」でも訳せそうであるが、英語講座など英語を学習するためのラジオ番組であれば「ながら」でなく「て」のほうが適切であろう。また(74) の「手を振って」も、「ながら」を用いると「手を振る」と「合図」が別々の動作になり、「手を振る ≠ 合図」というニュアンスが生じるため、「手を振る = 合図」という手段の場合は「て」が適切である。(75)～(80) については「て」を「ながら」に置き換えることは難しい。

4.5 “V1 着”が「< 4 > V1 の進行中に V2 の動作が現れることを表す」場合

この< 4 > の場合は“V1 着 V1 着”の形式で用いられ、表 2 のように日本語としては基本的に「うちに」で訳す。動詞の種類としては、「話す」など継続動詞の場合もあれば、「座る」など瞬間動詞の場合もある。

(81) 他说着说着哭了起来。(刘他 1988 : 319) 再掲

彼は話しているうちに泣き出した。

(82) 想着想着笑了起来。(吕 1980) 再掲

考えているうちに笑い出してしまった。

(83) 说着说着不觉到了门口了。(呂 1980) 再掲

話しているうちに、いつの間にか入り口に来ていた。

(84) 坐着坐着便睡着了。(BCC, 桑拿小姐)

座っているうちに寝てしまった。(作例)

(85) 睡着睡着、他做了一个梦。(杉村 1994 : 269) 再掲

眠っているうちに、彼は夢を見た。

これらの用例は「ながら」でも訳せる場合もあるが、この種の「ながら」の許容度には個人差があるため、基本的には「うちに」で訳するのがよい。また、次の(86)(87)のように従属節と主節の主体が異なる場合は「ながら」で訳すことはできない。

(86) 走着走着天色已经暗了下来。(呂 1980)

歩いていくうちに / *歩いていきながら もう空が暗くなってきた。(呂/作例) 再掲

(87) 妈妈读着信，脸上露出高兴的神色。(呂 1980) 再掲

母は手紙を読んでいるうちに、顔に喜びの表情があふれた。

なお、(87)については、“V1 着 V1 着”ではなく“V1 着”の形式が用いられているが、(87)は主体が異なっているため「ながら」では訳しにくく、「うちに」で訳す必要があると考える。

4.6 “V1 着”が「<5>その他(原因結果、継起など)」の場合

この<5>としては、“V1 着”が原因結果や継起などの意味・用法になる場合が該当し、先行研究の用例からは「と」に訳される場合が確認できた。このタイプは呂(1980)の“着”の用例にはなかったため、今後、さらに検討する必要がある。

(88) 我给您拿着包袱，您拿着怪累的。

私が包みを持ってあげましょう、あなたが持っているとひどく疲れますからね(現代漢語教研室 2004 : 318) 再掲

(89) (狼) 说着，就向东郭先生扑去。

(狼) そう言うと、東郭先生に飛びかかって行った。(劉他 1988 : 319) 再掲

5. まとめ

最後に、本稿での考察から、“V1 着”の日本語としての訳し方を仮説の形でまとめておく。

仮説1 “V1 着”が「2つの動作が同時に進行することを表す(同時進行)」場合、継続動詞の動作は基本的に「ながら」で訳す。ただし、手段・方法・様態の意味や繰り返しの意味が含まれる場合は「て」でも訳すことができる。また、2つの動作が同時並行的に進行している場合は「たり」で訳す。

仮説2 “V1 着”が「状態の維持を表す(維持)」場合、基本的には「て」で訳すが、「通常は起らない、あるいはふさわしくないと見なされる状況を含意する」場合は「たまま」で

訳すこともできる。ただし、文脈・場面から、すでに動作が生起していることが明らか
な場合や動作の生起を含まない場合は「て」で訳すことができず、「たまま」で訳す。

仮説3 “V1 着”が「手段・方法を表す」場合は「て」で訳す。

仮説4 “V1 着”が「V1 の進行中に V2 の動作が現れることを表す」場合、基本的に“V1 着 V1 着”
の形式が用いられ、「うちに」で訳すが、「うちに」を「ながら」で置き換えて訳せる場
合もある。ただし、主体が異なる場合は「ながら」では訳せない。

仮説5 “V1 着”が「原因結果、継起などを表す」の場合については「と」で訳す場合がある。

参考文献

- 王学群 (2004) 「付帯状況を表す“V 着”について」『日中言語対照研究論集』第 6 号, pp.52-64
工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現—』ひつじ書房
杉村博文 (1994) 『中国語文法教室』大修館書店
張岩紅 (2006) 「“V1 着 V2”と“一边 V1 一边 V2”との関係について」『日中言語対照研究論集』第 8 号,
pp.90-107
北京大学中国語文学系現代漢語教研室編 (2004) 『現代中国語総説』三省堂
彭飛編 (2007) 『日中対照言語学研究論文集—中国語から見た日本語の特徴, 日本語から見た中国語の特徴』
和泉書店
日本語記述文法研究会編 (2007) 『現代日本語文法 3 第 5 部アスペクト第 6 部テンス第 7 部肯否』くろしお出版
三宅知宏 (1995) 「～ナガラと～タママと～テ—付帯状況の表現—」『日本語類義表現の文法 (下)』pp.441-
450, くろしお出版
三宅知宏 (1999) 「日本語の付帯状況文」『国文鶴見』第 34 号, pp.75-84
村松由起子 (2019) 「「ながら」の周辺的な意味用法に関する一考察」『日本文学刊』vol.22 pp.50-64, 香港日本
語教育研究会
刘月华・潘文娛・故韡 (1983) 『实用现代汉语语法』外语教学与研究出版社
刘月华・潘文娛・故韡 相原茂監訳 (1988) 『現代中国語文法総覧 (上)』くろしお出版
刘月华・潘文娛・故韡 相原茂監訳 (1991) 『現代中国語文法総覧 (下)』くろしお出版
呂淑湘編 (1980) 『現代汉语八百词』商务印书馆出版
呂淑湘編 牛島徳次・菱沼透監訳 (1992) 『中国語文法用例辞典』東方出版
用例出典およびコーパス
甲斐睦朗・西尾瑠子・宮地裕監修 (2005) 『新版中日交流標準日本語初級下 (第一版)』人民教育出版社
陳凱歌『さらば、わが愛 霸王別姫 中国語・日本語対訳シナリオ集』
「中日対訳語料庫第一版」北京日本学研究中心
「BCC 語料庫」北京語言大学